

7月のほけんだより

アソカ保育園
看護師 中山 みどり

暑い季節がやってきました。梅雨明け直後は暑い日が続くので、熱中症に注意しなくてはなりません。水分補給や体調管理に気を付けながら、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。6月は感染性胃腸炎が1名、頭ジラミが2名でした。

頭ジラミ

体長は3mm程で、白っぽい灰色をしています。頭や耳の後ろに寄生し、髪の毛の根元に卵を産みます。血を吸うと頭がとてもしんどくなります。目視で確認できるので、髪の毛の根元に抜け殻や卵がないか、定期的にチェックしましょう。



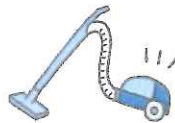
チェック方法

成虫は数が少なく見つけにくいものです。卵(0.5mm位の白い楕円形)はフケのように見えます。髪の毛の根元、特にえり足や耳の周りを触って、卵が付着していないかどうかをチェックしてください。軽いブラッシングや、手で払っても簡単に落ちないのが特徴です。



感染してしまったら、駆除用のスミスリンシャンプーを使用し、毎日洗髪しましょう。洗髪後は、目の細かいくしでとかし、卵を見つけたら付着した部分の髪の毛を切ります。これを10日間程続けましょう。

布団は毎日干し、枕カバー、シーツ、タオル、下着などは、毎日こまめに取り替えましょう。また、これらの共用は避けましょう。洗濯する前に乾燥機や熱湯で熱処理し、洗濯後にはアイロンをかけると効果的です。



こまめに部屋の掃除をすることも、家族にうつさないための予防につながります。掃除機をしっかりとかけて、床に落ちた髪の毛を吸い取りましょう。

感染性胃腸炎



感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で、数時間前まで元気だったのに、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。症状が出てから数時間が一番重く、水分を与えても吐いてしまいます。吐き気が治まるまで様子を見て、顔色が戻ってきたら経口補水液などを少量ずつ与えましょう。乳児の場合、母乳はそのままあげても構いません。下痢の症状は、数日前から出る場合もあれば、嘔吐が始まってから出る場合もあります。嘔吐物や便から感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が、集団感染の予防につながります。

7月の休日急患診療機関

7/2	日	島中小児科医院(小) 52-6000 (三股町)	松山医院(内・呼) 24-1046 (上川東)	岡病院(内・内) 62-1100 (高崎町)	安藤胃腸科外科医院(消・外・内) 39-2226 (豊満町)	福病院(整) 23-7236 (中町)	岩下耳鼻咽喉科(耳鼻) 51-1187 (三股町)
9	日	仮屋医院(内・小) 36-0521 (上水瀧町)	藤元総合病院(内) 22-1717 (早鈴町)	長倉医院(内) 52-2109 (三股町)	仮屋外科胃腸科医院(内・消・内・呼) 25-7712 (志比田町)	きたむら皮膚科クリニック(皮・アレ) 38-7300 (吉尾町)	ふたみ眼科(眼) 38-5532 (都北町)
16	日	ふくしまクリニック(内・消・小) 46-5001 (下川東)	宮永病院(内・骨・外) 22-2015 (松元町)	岡田光正内科医院(内) 38-5115 (太郎町)	一心外科医院(内・骨・外) 52-7788 (三股町)	なかはま整形外科(整) 46-7188 (都北町)	西浦医院(耳鼻) 22-0715 (松元町)
17	月	はしくち小児科(小) 24-5500 (都原町)	藤元上町病院(内) 23-4000 (上町)	海老原内科(内) 64-1211 (山田町)	とどの内科外科胃腸科医院(内・外・消) 52-1135 (三股町)	横山病院(泌・消) 22-2806 (都島町)	たき心臓内科クリニック(内・心・消・神) 46-9191 (若葉町)
23	日	教山内科医院(内・小) 62-1205 (高崎町)	三嶋内科(内) 24-7171 (藤尾)	ゆうクリニック(内) 46-6100 (広原町)	吉松病院(外・整) 25-1500 (蔵原町)	ならはら皮膚科医院(皮) 22-1455 (志比田町)	やの耳鼻咽喉科(耳鼻) 27-5222 (吉尾町)
30	日	志々目医院(内・小) 57-2004 (山之口町)	瀬ノ口医院(内・消) 25-5155 (姫城町)	戸嶋病院(内) 22-1437 (郡元町)	三州病院(外・骨・内) 22-0230 (花緑町)	姉川医院(皮・泌) 22-2205 (小出原町)	永吉眼科医院(眼) 22-1530 (姫城町)